

蘆花恒春園見学ご案内

明治期から大正にかけて活躍した文豪、徳富蘆花の旧宅が没後、東京市（現東京都）に寄贈され、武蔵野の面影を多分に残した公園として一般に公開されています。公園内には広場の他、徳富蘆花の旧宅などを現在でも見ることができ、晩年の蘆花の生活ぶりを垣間見ることができます。日時を下記の通り計画しましたのでご参加頂きたくご案内致します。

記 連絡担当 本間 090・6940・6824

- ▶実施月日：平成 31 年 1 月 22 日（火） 三輪 090・8587・0314
- ▶集合場所：J R 浦和駅 5：6 番線ホーム・エレベーター付近（午前 9 時 25 分までに集合）
- ▶乗車時間：J R 浦和駅 午前 9 時 31 分発（湘南新宿ライン快速小田原行）➡赤羽駅（5 番線）9：40 発➡新宿駅 着 9：58（乗換）➡京王線新宿駅（1 番線）10：13 発（高幡不動行）➡芦花公園駅 10：31 着（南口） ※IC 利用 562 円
- ▶徒歩行程：芦花公園南口➡世田谷文学館（収蔵品見学 200 円）➡粕谷地蔵尊前小広場➡粕谷の竹林➡蘆花恒春園（記念館・蘆花夫妻の墓・粕谷八幡神社）

※昼食カフェプラザール（ナポリタン、エビマカロニグラタン等 19 席休日 月曜日、木曜日、祝日 環状 8 号線反対側にデニーズあり。

●徳富蘆花歴史概要（芦花公園駅から徒歩 15 分）

- ◆恒春園面積 80,304,43 m²
 - ◆昭和 12 年（1,936 年）夫人により、旧宅・耕地など一切を東京市に寄付
 - ◆昭和 14 年 2 月公園として開園、順次周辺の土地も公園として整備され現在にいたる
 - ◆主な作品 不如帰（ホトトギス、明治 31 年：1.898 年出世作）
- 略図下の●を訪ねる（マリア洋菓子店は復路にします）



- 昼食を世田谷文学館にてと予定しておりますので、各ブロック毎に参加人数を平成 31 年 1 月 12 日迄に三輪さんにメールにてくださるようお願いいたします。